

MRI検査

Magnetic Resonance Imaging

MRI(Magnetic Resonance Imaging : 磁気共鳴画像) 検査は、磁石の力を利用して体内の水素原子の運動を可視化することで体の断面を撮影することができる検査です。X線を使わないので、放射線による被ばくの心配はありません。

当院では、1.5T (テスラ)と3.0T (テスラ)という強い磁場強度の最新のMRI装置を導入しており、どちらの装置でも非常に高精細な画像を得ることができます。

1.5T MRI : SIGNA Explorer



3.0T MRI : SIGNA Pioneer



MRIの特徴

X線を使わないため、被ばくはありません。

体内の断面をあらゆる方向から得ることができます。

撮影時間は他の検査に比べて長くかかります。(検査内容により20~40分ほど)痛みはありませんが、筒状の装置の中に入って検査を行うため、閉所恐怖症など狭いところが苦手な方や、撮影中に動いてしまう方は撮影が困難となります。また、撮影中に工事現場のような非常に大きな音が発生します。

MRI検査前の注意事項

MRI検査は強力な磁石を使用して検査を行います。

次のような方は検査ができない場合も有りますので、必ず事前にお知らせください。

- ・心臓ペースメーカー、埋込み型除細動器、人工内耳を入れている方。
- ・外傷や手術で人工関節や脳動脈クリップなどのMRI非対応の金属が体内にある方。
- ・妊娠中もしくはその可能性がある方。
- ・閉所恐怖症など狭い場所が苦手な方。

MRI検査入室の準備

次のような貴金属類や貴重品の持ち込みは大変危険で、機器が故障したり検査の妨げになったりしますので事前に取り外し、検査着に着替えていただきます。

貴金属

時計、指輪、ネックレス、イヤリング、ヘアピン

磁気カード

キャッシュカード、テレホンカード、定期券

その他

眼鏡、補聴器、カイロ、エレキバン、湿布などの貼付薬、入れ歯、鍵、金属のついた下着（ブラジャー、スリッパ）など

※化粧品（マスカラなど）、カラーコンタクトレンズの中には金属を含んでいるものがあるため、化粧を落とす必要や外していただく場合があります。

